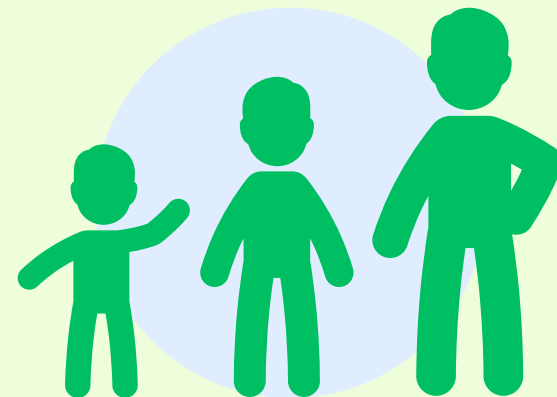


新しい学校をつくります

厚沢部の 子どもたちの未来のために



学び



成長

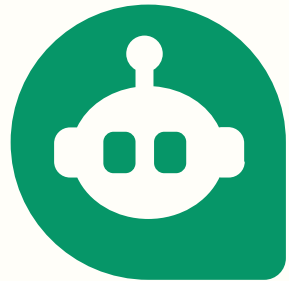


地域

2030 年度に開校予定

厚沢部町教育委員会

今、世界は どう変わっている？



A I（人工知能）時代の到来

生成 A I 等が登場し、私たちの仕事や暮らしが大きく変わっています



未来の職業

今の小学生の **65 %** は、
まだ存在しない仕事に就くと言われています



変化のスピード

スマホの普及から A I まで
これまでにない速さで社会が動いています



グローバル化



デジタル化

子どもたちが抱える課題

変化の激しい社会の中で、今の子どもたちの「学び」や「心」に課題が見えています

01 将来の夢がもてない



「将来なりたい職業がない・わからない」という子どもの割合が高くなっています。学ぶ意味を見出せず、未来に希望を持ちにくい状況があります。

02 同調圧力



周りの意見に合わせてしまい、自分らしさを出せない。「みんなと一緒に」でないと不安で、ユニークな発想が生まれにくい環境です。

03 正解主義



「正解は1つ」という思い込みから、失敗を恐れて自分の意見を言ったり、新しいことに挑戦したりすることに自信が持てません。

04 不登校の増加



学校生活に馴染めず、生きづらさを感じる児童生徒が増加しています。学びのスタイルが合わない子どもたちへの対応が急務です。



これらを解決するために「新しい学び」が必要です

だから教育が変わります

これからの時代にあわせて、学校の「学びの基盤」が新しくなります

これまでの教育

これまで



知識を覚える

暗記中心



みんな一緒に

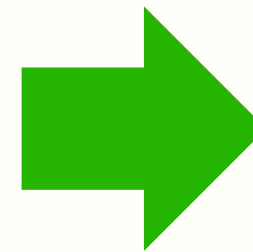
同じ事をする



とにかく詰め込み

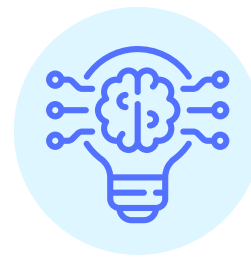
余裕がない

新基盤に変更



これからの教育

ポイント1



「なぜ？」を考える

もっと深く学ぶ

ポイント2



一人一人にあわせて

好き・得意を伸ばす

ポイント3



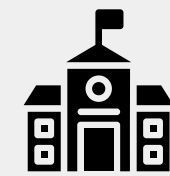
じっくり向き合う

先生と子どものゆとり

義務教育学校ってなに？

小学校と中学校がひとつになった、新しい学校のカたちです

これまでの学校



小学校 6年間

中1ギャップ



中学校 3年間

1年生

6年生

1年生

3年生



これから始まる義務教育学校

1～2年生

生活の基礎をつくる

3～5年生

学習の基礎をつくり、個性を伸ばす

6～9年生

才能を開花させ、未来へつなぐ

9年間の切れ目のない学び



中1ギャップの解消

急な環境変化がなくなり安心して中学校段階へ進めます



9年間を見通した教育

一人ひとりの成長を丁寧に見守ることができます

目指す学校像

厚沢部町が目指す学校の特徴

新しい学校には、4つの柱があります

01 一人ひとりに合わせた学び

個別最適化



「得意なことはどんどん伸ばし、苦手なところはじっくり丁寧に」。タブレットなども活用しながら、自分のペースで楽しく学べる環境を整えます。

02 異学年で学び合う

協働的な学び



1年生から9年生までが交流できる環境で、年上の子から学び、年下の子に教える経験を通して、思いやりやコミュニケーション能力を育みます。

03 地域とつながる学び

地域協働



厚沢部町の豊かな自然、歴史ある文化、特色ある産業を教材として活用。地域の方々と一緒に学ぶ機会を増やし、ふるさとへの愛着と誇りを育てます。

04 未来の学び方に対応

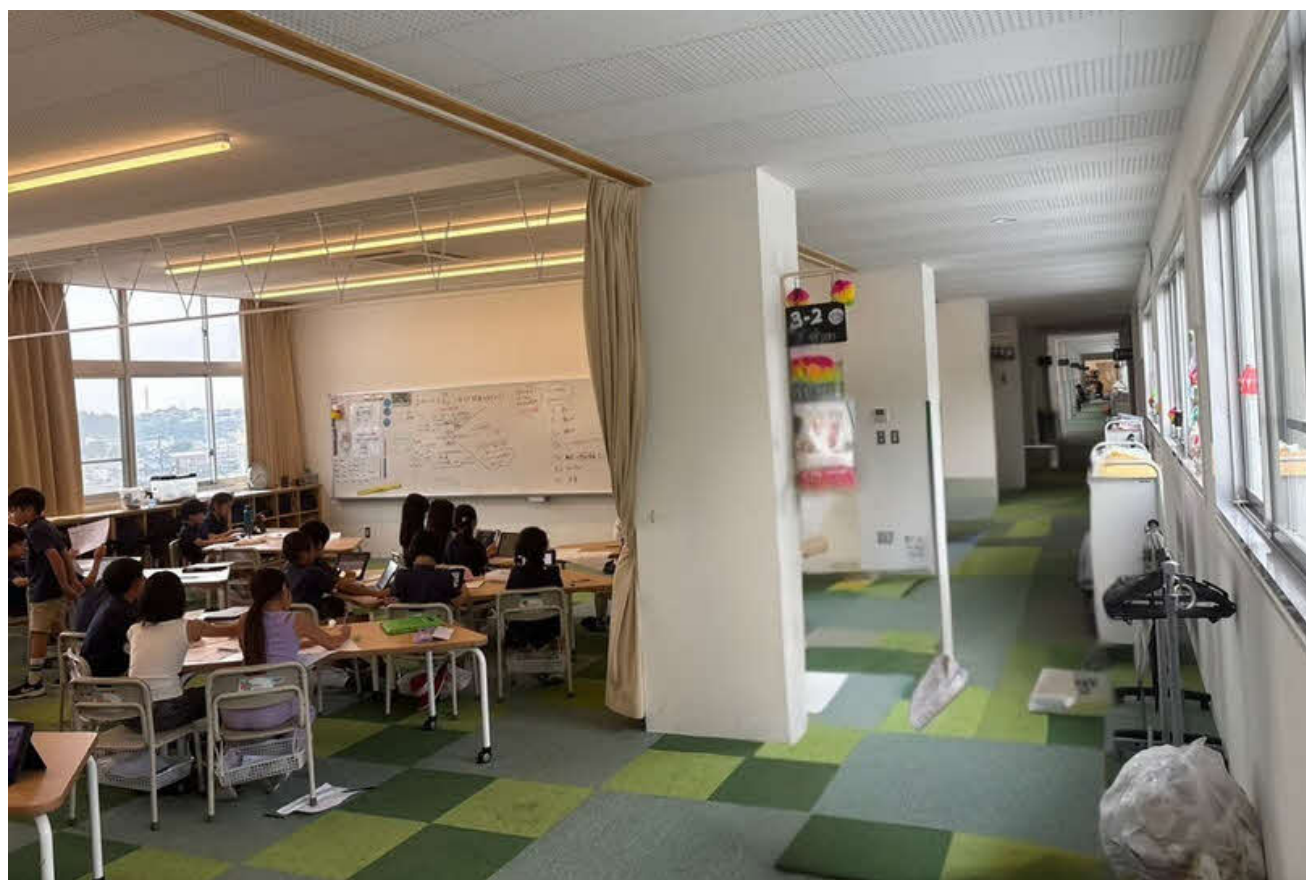
ICT・グローバル



ICT機器を効果的に活用し、世界の情報にもつながりながら、グローバルな視野を持った子どもを育てます。変化の速い社会で活躍できる力を養います。

新しい学校の施設イメージ

～教室だけじゃない、学校全体が「学びの場」へ～



全国の先進校 瀬戸SOLAN学園の例

- 壁のない教室
- 一人1台端末でどこでもWi-Fi
- 地域交流・防災の拠点
- バリアフリー（上靴なし）

セキュリティを確保しつつ外部とつながる



オープンスペースで自由に学ぶ

教室の壁をできるだけなくし、広々とした空間で、学年を超えて交流したり、グループ学習をしたりできます。



廊下・階段・屋外も含めて学びの場

本を読める階段や、ちょっとした打ち合わせができる廊下など、学校のいたるところが学習スペースになります。



ICT環境の充実

1人1台のタブレット端末と高速Wi-Fiを完備。どこにいてもデジタルの力を使って、世界中の情報にアクセスできます。



誰にでも優しいバリアフリー

段差をなくし、エレベーターや多目的トイレを設置。障がいの有無に関わらず、全ての子どもたちが快適に過ごせます。



地域に開かれた防災拠点

地域の方々が集う交流スペースとして、また災害時には安心して避難できる防災拠点としての機能も備えます。

新しい時代の学びを実現する空間イメージ例（未来思考の視点を含む）

これからの学校施設は、新しい時代の学びを実現していくことを基本とし、それらを具体化する施設環境を創造していく

学び



単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な学びに対応できるよう、創造的な空間に転換していく姿

学び



学校図書館とコンピュータ教室と組み合わせて読書・学習・情報のセンターとなる「ラーニング・コモンズ」としていく姿

学び



教室と連続する空間も活用し、高機能のコンピュータ室を専門的で高度な学びを誘発する「デザインラボ」としていく姿

学び



映像編集やオンライン会議のためスタジオ、情報交換や休息ができるラウンジなど、円滑に業務を行える執務空間としていく姿

生活



木材を活用し温かみのあるリビングのような空間の中で、壁面の工夫やベンチ等を配置し、豊かな学び・生活の場としていく姿

共創



地域コミュニティの拠点として、地域や社会の人たちと連携・協働し、ともに創造的な活動が展開できる共創空間としていく姿

安全



長く使い続けることができるように安全性を確保し、子供たちの学び・生活の場、地域のコミュニティの拠点としていく姿

環境



省エネルギー化や再生可能エネルギーを導入等を積極的に進め、環境教育での活用や地域の先導的役割を果たしていく姿

今後の予定

これからのスケジュール

2030年の開校に向けて、段階的に進めていきます

令和 7 年度
(2025年度)



検討・周知

- 検討委員会の設置
- 住民説明会の開催

令和 8 ～ 9 年度
(2026～2027年度)



対話・設計

- 基本設計・実施設計
- 住民意見交換会
- 子どもワークショップ

令和10～11年度
(2028～2029年度)



建設・準備

- 建設工事
- 開校準備委員会
- 校名・校歌等検討

令和 1 2 年度
(2030年度)



開校

建物は年度中に
完成予定

参加側プロジェクト

みんなで作る学校づくり

「みんなの学校、みんなの地域拠点」として、様々な声をカタチにします

Action1



子ども会議

子どもたち自身のアイデアや「こんな学校がいい！」という願いを、学校づくりに直接反映します。

楽しいを作るのは自分たち

Action2



町民意見交流会

保護者や地域の方々の知恵と経験をお借りします。地域の拠点としてどうあるべきか、一緒に考えます。

地域の声が学校を育てる

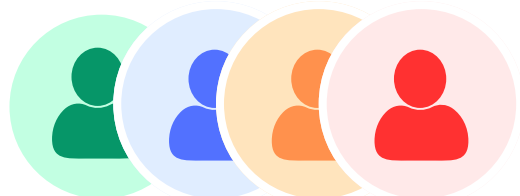
Action3



教職員プロジェクト

日々子どもたちと向き合う先生方の専門的な知恵と経験を、新しい学びの場づくりに活かします。

教育のプロの視点を設計に



子ども・保護者・地域・先生...すべての人の思いでつくります

期待される効果

どんな**良い**ことがあるの？

それぞれの視点から見たメリットは...



子どもにとって

のびのび育つ

- 9年間安心して学べる
- 自分のペースで成長できる
- 思いやりの心が育つ



地域の声が学校を育てる

安心・見守り

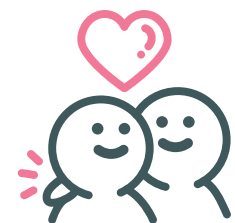
- 長期的な視点で見守り
- 兄弟姉妹で同じ学校
- 地域と連携した学び



地域にとって

交流・活性化

- 多世代交流の拠点
- 防災拠点としての安心
- 地域の元気を創出



学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えます

まとめ

厚沢部の子どもの未来のために



変化の時代を生き抜く力を育てる

知識だけでなく、自分で考え、挑戦する心を大切にします



一人ひとりの個性を大切にする

「みんなと同じ」から「自分らしい学び」へ転換します



地域に根ざし、世界に広がる学び

厚沢部の良さを知り、広い視野を持つ子どもを育てます



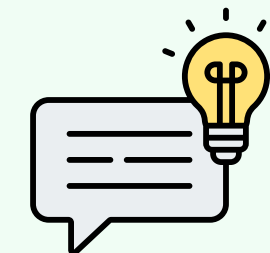
2030年開校に向けてみんなで作る

子ども、保護者、地域、教職員が一体となって進めます



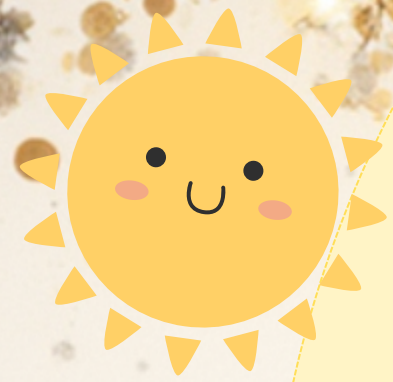
皆さんの声が学校をつくります

不安なこと、期待すること、
どんなことでもお聞かせください
一緒に新しい学校を
つくっていきましょう！



ご意見・ご質問をお待ちしています

厚沢部町教育委員会



町内のすべての子どもが

輝ける環境を

厚沢部町教育委員会
Assabu Town Board of Education